釧路市トンネル個別施設計画

令和4年 10月

令和7年 5月 改訂

釧路市都市整備部道路維持事業所

目 次

1. 計画対象施設の現状と課題
2. 健全度の把握に関する基本方針
3. 日常的な維持管理に関する基本方針
4. 老朽化に関する基本方針
5. 新技術に関する基本方針
6. 費用縮減に関する具体的な方針
7. 対象施設の概ね次回点検及び修繕内容・時期

1. 計画対象施設の現状と課題

(1) 現状と課題

釧路市が管理するトンネルは令和4年9月現在2箇所、総延長200mです。建設後の平均経過年数は30年の状況にあり、定期的な点検による状況把握、点検結果に基づく対策が必要です。

(2) 計画対象施設

計画対象施設の諸元は下表のとおりです。

【釧路市トンネル一覧表】

構造物の諸元							
トンネル名	路線名	建設年	トンネル長	幅員	等級	所在地 (起点側緯度)	所在地 (起点側経度)
材木山の手トンネル	旭橋通3	1995	120	23.5	D	42.986111度	144.398888度
緑ヶ岡トンネル	緑ヶ岡西4号1	1989	80	12.75		42.985833度	144.400833度

2. 健全度の把握に関する基本方針

管内トンネル特性、現状についての情報をもとに、近接目視による5年に1回の定期点検を実施し、診断結果の健全性をIからIVまで区分けすることで、対策の必要性を明確にします。

3. 日常的な維持管理に関する基本方針

日常パトロール及び維持工事を行うことにより、日常的な維持管理を実施します。

4. 老朽化に関する基本方針

予防保全型の管理を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

5. 新技術の活用方針

点検や修繕を効率的に行うため、新技術の活用を積極的に検討します。

6. 費用縮減に関する具体的な方針

令和9年度までに実施する点検や修繕について、管理する2箇所のトンネルで新技術を導入することにより、30万円のコスト縮減を目指します。

なお、集約・撤去については、対象となる施設はありません。

7. 対象施設の概ね次回点検及び修繕内容・時期

下表のとおりです。

【釧路市トンネル一覧表】

構造物の諸元		直近における点検結果及び次回点検年度			対策内容 補修内容 (主な措置内容)	対策の着手 完了予定年度		対策に係る 全体概算事業費	
トンネル名	路線名	建設年	点検結果			次回点検年度	着手年度	完了年度	補修費用(百万円)
			年度	判定区分	4.0				8.0
材木山の手トンネル	旭橋通3	1995	2024	II	2029	2029 2034	2029 2034	4.0 4.0	8.0
緑ヶ岡トンネル	緑ヶ岡西4号1	1989	2024	II	2029	2029 2034	2029 2034	2.0 2.0	4.0

※健全度判定区分凡例

- I・・・構造物の機能に支障が生じていない状態
- II・・・構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
- III・・・構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
- IV・・・構造物の機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

●事後保全型：損傷が大きくなってから対策を行うため、工事規模が大きく多大な費用が必要になります。

●予防保全型：損傷が小さいうちに対策を行うため、施設寿命が長くなり修繕費用を最小限に抑えられます。

●ライフサイクルコスト（LCC）：供用期間内に発生する全ての対策費用を合計した費用を言います。この費用が低くなるような管理を実施することで、長期的な視点で経済的な管理を実現できると言えます。